

沖縄県のシンボル



県章

本土ふっ帰した1972(昭和47)年5月15日から使われている沖縄県のマークです。

県章は、3つの丸からなっています。いちばん外側の赤い丸は、沖縄県を囲んでいる海を表しています。中にある白い丸は、ローマ字OKINAWAのOと、人の輪を表しています。いちばん内側の赤い丸は、沖縄県の発展性を表しています。



県花/でいご

沖縄県を代表する花は、人気投票で1967(昭和42)年に決められたものです。でいごの票は全体のほとんどをしめ、2位のハイビスカスを大きく引きはなしました。

でいごはインドやマレー半島が原産で、高さが10メートルほどになる豆科の木です。3~5月ごろ、あざやかな赤い花をえだいっぱいにさかせます。

県木/りゅうきゅうまつ

沖縄県の木は、りゅうきゅうまつです。高さは15メートル前後になり、しお風に強いので保安林や街路樹などに利用されます。

また、盆栽(ぼんさい)としても人気があるほか、家具や炭の材料にもなります。1967(昭和42)年に選ばれました。



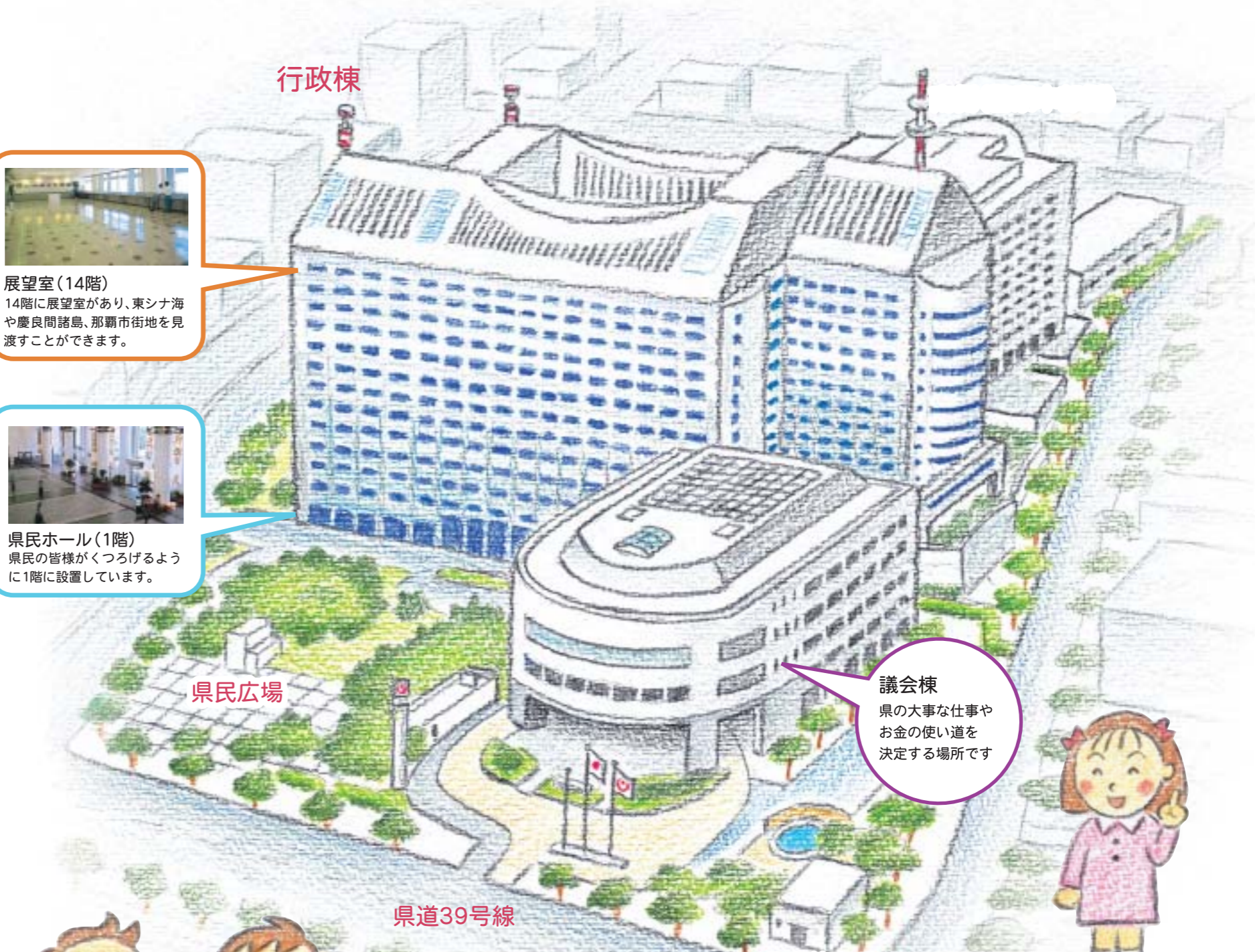
県鳥/ノグチゲラ

県の鳥は、特別天然記念物でもあるノグチゲラというキツツキのなかとです。全長は約31センチ。全身は赤みがかった茶色で、オスの頭は赤い色をしています。

人気投票で決まったのですが、ヤンバルクイナは名前も出ませんでした。その当時、ヤンバルクイナはまだ発見されていなかったのです。1972(昭和47)年に選ばれました。

県魚/たかさご(方言名グルクン)

方言でグルクンとよばれるこの魚は、一年じゅうみかける魚で、かまぼこの材料としても利用されています。県民に広く親しまれているということから、1970(昭和45)年、県魚に選ばれました。



行政棟



展望室(14階)

14階に展望室があり、東シナ海や慶良間諸島、那覇市街地を見渡すことができます。



県民ホール(1階)

県民の皆様がくつろげるように1階に設置しています。

県民広場

議会棟

県の大事な仕事やお金の使い道を決定する場所です

県道39号線

県庁前交番



目次

① 沖縄県の位置	4	⑥ 県に入るお金と使い道	12
② 県庁のしくみ	6	⑦ 沖縄県の産業	14
③ 県議会のしくみ	7	⑧ ユネスコ世界遺産	16
④ 県の仕事と役割	8	⑨ 沖縄県の市町村	18
⑤ 県のそしき	10	⑩ 沖縄県民の歌	19